

# 平和運動センター通信 原水禁ヒロシマニュース

№.253  
2023年  
7-8月号  
(7月6日)

- 発行：広島県平和運動センター  
原水爆禁止広島県協議会（広島県原水禁）
  - 〒733-0013 広島市西区横川新町7-22 自治労会館 1階
  - Tel:082-503-5855 FAX:082-294-4555
  - E-mail:h-heiwa@chive.ocn.ne.jp
  - 広島県原水禁 ホームページ <http://www.hiroshimaken-gensuikin.org/>
  - ブログ：<http://kokoro2016.cocolog-nifty.com/shinkokoro/>
- 子どもや孫たちに、戦争も核もない、美しい地球を！—

発行責任者  
大瀬敬昭  
(事務局長)

## 被爆78周年原水禁大会へ実行委員会を結成 従来の規模・内容での開催を確認

広島県原水禁は6月13日、自治労会館で「被爆78周年原水爆禁止世界大会第1回広島県実行委員会（結成総会）」を開催し、夏に開かれる原水禁大会に向けて始動しました。

開会にあたってあいさつした秋葉忠利県原水禁代表委員は、5月に行われたG7広島サミットに対し、「各国首脳が広島に来たこと、資料館を見たこと、被爆者に会ったことは評価できる」としながらも、「本当に広島にとって、被爆者にとって良かったのか。広島ビジョンは、広島が代弁してきたことを否定し、貶めるものだった。核兵器の存在が平和をもたらすという考え方に立つものだった。」と厳しく批判しました。

続いて、前日結団式が行われたばかりの第26代高校生平和大使の永戸ももさん（福山暁の星女子中学高等学校2年）があいさつ。「皆さんの『核兵器はいらない』と活動する姿が、私たちの大きな力になっている。3年前に『びりよくだけどむりよくじゃない』を聞いた。私たちのアクションは小さいかもしれないが、その力が大きなものとなっていくと感じている」と決意を表明しました。なお、同じく第26代平和大使となった宇土未来さん（県立加計高等学校芸北分校2年）と五閑さくらさん（県立広島高等学校2年）は、出席できませんでしたが、県原水禁として改めて高校生平和大使の活動支援を強めていくことを確認しました。

会議はその後、原水禁世界大会実行委員会事務局長谷雅志さんが、「原水禁大会全体の考え方」を提起するとともに、現地実行委員会としての協力支援のお願いを行い、また、

### 《今後の主な予定》

- |          |                                |
|----------|--------------------------------|
| 7月7日（金）  | 部落解放共闘就職差別申し入れ（県・県教委・労働局）      |
| 7月18日（火） | 被爆78周年原水禁大会実行委員会（自治労会館）        |
| 7月21日（金） | 第42回反核平和の火リレー到着（慰霊碑前）          |
| 7月30日（日） | 広島県水平社創立100周年記念集会（福山市人権交流センター） |
| 8月4～6日   | 被爆78周年原水禁大会広島大会                |
| 8月7～9日   | 被爆78周年原水禁大会長崎大会                |

県原水禁の大瀬事務局長が広島大会の日程と県実行委員会が果たすべき役割について提起。

「この3年間、コロナ禍のため完全オンラインでの開催や規模の縮小を余儀なくされてきましたが、この夏の『被爆78周年原水爆禁止世界大会』は、コロナ禍以前の規模をめざして開催することになりました。

（情勢部分は略）今年の大会は、こうした課題に向き合うとともに、被爆者の高齢化が進み、被爆の実相をどのように引継ぎ、そして運動をどのように若い世代に引き継いでいく

のかという点でも大切な大会となります。『核も戦争もない平和な21世紀』のため、広島に集う全国の皆さんとともに、広島大会の成功に全力をあげましょう」（開催にあたって）との内容を確認しました。

なお、「非核平和行進」は、従前の取り組みに戻し、「東部コース＝7月27日（木）～8月3日（木）、北部コース＝7月30日（日）～8月2日（水）、西部コース＝8月1日（火）～8月3日（木）」の日程で実施することになりました。（4ページに日程表）



大会の成功へ協力を呼びかける谷雅志大会実行員会事務局長

## 第5福竜丸事件を学ぶ

報告＝金子哲夫

原水禁大会委員会に続いて、「第五福竜丸を知っていますか？」と題して、第五福竜丸展示館学芸員・市田真理さんの記念講演が行われました。

「第五福竜丸」は、ビキニ水爆実験「ブラボー」に遭遇し被曝した静岡県焼津港所属のマグロ漁船です。

第五福竜丸が、廃船処分になって東京江東区・夢の島には遺棄されたのが、1967年。その翌年から「保存の呼びかけ」が始まり、1976年6月10日に「都立第五福竜丸展示館」として開館しました。コロナの影響で、昨年は来館者が6万人に落ち込んだのですが、例年11万人の人が訪れています。

「どうして保存運動にそんなに頑張れたのですか」の問いの答えは「板きれ一枚でも残したい。水爆実験の生き証人だから」。

1966年から募金運動が始まり、翌年に第1回の保存工事が行われ保存が決まった原爆ドームの保存運動に学びながら、「原爆ドームを守った私たちの力でこの船を守ろう」（朝日新聞への投書）と保存運動が始められたことから、市田さんの話は始まりました。

そして、1954年3月1日にアメリカがビキニ環礁で実施した水爆実験「ブラボー」、そしてなぜ第五福竜丸は被曝したのか、放射能汚染魚の広がり、第五福竜丸が焼津に帰港してからの起こった被曝報道等が、詳しく紹介されました。

当時の中国新聞がどのように報道したかも話されました。改めて調べてみたいと思います。被曝し最初の犠牲者となった久保山愛吉さんに3千通の手紙が届いたこと、内半数が

子どもからのものだったことの報告も印象的でした。

さらに市田さんの話は、全国各地で広がった「原水爆禁止」の署名運動、特に広島での署名が瞬く間に100万に達し、国連に送られたことに移りま。今に至る原水禁運動の出発点となった出来事ですので、しっかりと学んで欲しい内容です。

問題の収束を急いだアメリカ政府と日本政府。翌年1月には、アメリカ政府の200万ドル（7億2000万円）の見舞金で、政治決着。一人あたりの慰謝料は、平均200万。久保山愛吉さんへの慰謝料は500万。第五福竜丸の乗組員への補償はこれで終わり。

慰謝料が出たことに対し、広島の被爆女性から「私共の広島では今尚、九年前の原爆による原爆症によって幾人かは治療もろくに出来ず、何の補償すらなく不安におののき死んでいかなければならない方達が居ります。貴女以上の苦しみと淋しさ打ちのめされただれ一人顧みられない・・・」との手紙が久保山さんの遺族に届いたことも紹介されました。

広島の被爆者の苦悩がにじみ出たこの手紙が、一方では非難とも受け取れるものですので、この問題をどう考えるべきかと問われた気がします。

しかし、その後の原水禁運動、被爆者救済運動の中で1957年に成立した「原爆医療法」では、第五福竜丸の被曝者は、その対象から除外をされ、「被爆者援護法」が成立した今も、同じヒバクシャでありながら、その対象とならないままであることも忘れてはならないことです。

第五福竜丸の被曝から日本での原水禁運動はスタートし、これを契機に広島・長崎の被爆者救援の運動が進んだのですが、長く私たちが気づかずいたのが、核実験場となったマーシャル諸島の住んでいた住民の被曝の事実です。私たち日本の原水禁運動がその問題の初めて向き合ったのは、1971年に開催された被爆26周年原水禁世界大会にミクロネシアの代表が参加したときからです。ようやく私たちは、世界の核被害者の問題と向き合うことになったのです。

貴重な資料もあり、原水禁運動の歴史を振り返り、問題を学び直すことの多かった市田さんの講演でした。

約50名あまりの参加者の内、これまでに第五福竜丸展示館を訪れたのは約10名でした。私もまだ一度も訪れたことがありませんので、今度東京に行ったときには、見学に行こうと思います。



# 核も戦争もない平和な21世紀に！ 被爆78周年原水爆禁止世界大会・広島大会 日程

2023/7/5現在

## ●国際シンポジウム

月日 (曜)	時間	企画・行事等の名称	定員	会場	住所	TEL
8月5日 (土)	14:00 ~ 16:00	「核兵器廃絶にむけた道筋をえがく」(同時通訳あり)	500	広島県民文化センター 多目的ホール	広島市中区大手町1-5-3	082-245-2311

## ●広島大会行事

月日 (曜)	時間	企画・行事等の名称	定員	会場	住所	TEL
8月 3~4日		代表登録 8月3日(木)13:00~17:00/8月4日(金)9:30~17:00	代表者	大会事務局 自治労会館3F	広島市西区横川新町7-22	082-294-4588
8月4日 (金)	13:30 ~ 15:00	運営会議(全国代表・運営委員・地元実行委員)	関係者	自治労会館3F 大会議室	広島市西区横川新町7-22	082-294-4588
	15:40 ~ 17:00	折鶴平和行進 15:30平和公園集合 15:40出発~17:00到着	全員	平和公園 ~県立総合体育館	広島市中区中島町1 広島市中区基町4-1	082-228-1111
	17:00 ~ 18:30	被爆78周年原水爆禁止世界大会・広島大会 開会総会	全員	広島県立総合体育館 大アリーナ	広島市中区基町4-1	082-228-1111
8月5日 (土) 午前	9:30 ~ 12:30	① 平和と核廃絶Ⅰー世界の核兵器廃絶にむけて	120	広島YMCA2号館地下1F コンベンションホール	広島市中区八丁堀7-11	082-227-6816
	9:30 ~ 12:30	② 平和と核廃絶Ⅱー日本の軍備拡大・改憲について	180	RCC文化センター7F	広島市中区橋本町5-11	082-222-2277
	9:30 ~ 12:30	③ 脱原発ー政府の原子力推進政策とフクシマ	280	広島YMCA本館地下1F 国際文化ホール	広島市中区八丁堀7-11	082-227-6816
	9:30 ~ 12:30	④ ヒバクシャⅠー被爆の実相の次世代継承と二世課題	120	ワークピア広島4F「芙蓉」	広島市南区金屋町1-17	082-261-8131
	9:30 ~ 12:30	⑤ ヒバクシャⅡーヒバクシャ問題の残された課題	100	ワークピア広島3F「蘭」	広島市南区金屋町1-17	082-261-8131
	9:30 ~ 12:30	⑥ 見て・聞いて・学ぼうヒロシマ	500	広島県民文化センター 多目的ホール	広島市中区大手町1-5-3	082-245-2311
8月5日 (土) 午後	14:00 ~ 16:30	⑦ ヒバクを許さないつどい Part.20	180	RCC文化センター7F	広島市中区橋本町5-11	082-222-2277
	14:00 ~ 16:30	⑧ 女性のひろば	100	ワークピア広島3F「蘭」	広島市南区金屋町1-17	082-261-8131
	14:00 ~ 16:30	⑩ 上関原発を考えるつどい	100	自治労会館3F 大会議室	広島市西区横川新町7-22	082-294-8711
	14:00 ~ 16:30	⑪ 話芸で学ぶ「平和と核」(落語と講談) 落語:古今亭菊千代 講談:田辺一乃	280	広島YMCA本館地下1F 国際文化ホール	広島市中区八丁堀7-11	082-227-6816
8月5日 (土) 全日	7:15 ~ 17:30	⑫ バスツアー大久野島「ヒロシマと戦争」 ※参加費7000円(弁当、お茶込み)	120	7:15平和公園資料館前集合 ~大久野島	広島市中区中島町1	
	7:45 ~ 16:30	⑬ 安野発電所「中国人強制連行・中国人被爆の歴史を歩く」 ※参加費6000円(弁当、お茶込み)	20	7:45平和公園資料館前集合 ~安野発電所	広島市中区中島町1	
8月6日 (日)	9:30 ~ 10:15	被爆78周年原水爆禁止世界大会・広島大会 まとめ集会	500	広島県民文化センター 多目的ホール	広島市中区大手町1-5-3	082-245-2311

## ●若者・子ども関連行事 ※要申込

8月5日 (土)	午前	⑨ a	子どものひろば(平和公園フィールドワーク・被爆電車)	要申込	8:00平和公園原爆供養塔前集合 ~メルパルク広島5F「桜」	広島市中区中島町1	
	午後	⑨ b	子どものひろば(大学生によるワークショップ型企画)	要申込	ワークピア広島4F「芙蓉」	広島市南区金屋町1-17	082-261-8131

## ●関連行事

8月5日 (土)	16:00 ~ 18:00	被爆78年 連合2023平和ヒロシマ集会 (連合主催/原水禁・KAKKIN共催)	2000	広島上野学園ホール	広島市中区白島北町19-1	
8月6日 (日)	8:00 ~ 8:45	広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式(広島市主催)		平和公園慰霊碑前	広島市中区中島町1	

## 第42回反核平和の火リレーがスタート

広島県青年女性平和友好祭実行委員会が主催する、第42回反核平和の火リレーが7月3日、広島市の平和公園を出発しました。リレーは7月21日まで、県内23全市町約630kmを約1000人のランナーで走破する予定です。

原爆慰霊碑前で行われた出発式は、献花・黙とうの後、自治労広島県本部青年部長の竹元寛徳さんが平和公園に燃える続ける平和の灯をトーチに採火。第一走者を務める実行委員長の新田康博さんの持つトーチへと受け渡されました。



激励の言葉は県被団協の前田耕一郎事務局長と県原水禁の金子哲夫代表委員。前田さんは、5月に開かれたG7広島サミットに対し、「核抑止論が肯定されるなど、被爆者にとっては許しがたいものとなった」と批判。その上で、「皆さんの若い力をありがたく感じている」とエールが送られました。また、金子さんはリレーが各自治体に対して非核自治体宣言を求めてきた歴史に触れながら、「核なき社会、そのためには、日本政府が核兵器禁止条約を署名・批准することが求められる。それを実現していくにも、各自治体の力が必要。リレーを通じて自治体が核禁条約を政府に求めていくよう働きかけを強めて頂きたい」と激励しました。

その後、松井一寛広島市長からのメッセージが読み上げられ、新田実行委員長が「被爆者が亡くなる中、若い私たちが被爆の実相を伝えていかななくてはならない。走る姿を通して、核兵器や戦争を考える機会になってほしい。一人でも多くのランナーとともに、平和の火を走りつないでいきたい」と決意を表明し、出発しました。

### 広島市「平和宣言」に対し「核抑止論の否定」を求め要請

県原水禁は7月5日、松井一寛広島市長あてに、8月6日の平和記念式典で市長が発する「平和宣言」の中に、核抑止論を明確に否定することや、日本政府が早期に核兵器禁止条約に批准することを求める要望を行いました。

県原水禁からは、金子哲夫・高橋克浩の両代表委員と大瀬敬昭事務局長の三人が参加し、平和推進課の檜垣智弘課長に要請書を手渡しました。

G7広島サミットが発表した「広島ビジョン」は、「核兵器の保有」を事実上容認する「核抑止論」を全面的に肯定するものですが、広島市はこの「広島ビジョン」を否定する意思表示を行っていません。このことから、県原水禁としての要望となりました。



檜垣課長からは、「広島市は、核抑止論を否定している」としたうえで、「被爆者や市民の声を聴く第3回目となる懇談会を受け、市長が判断する」と、述べられました。

2023年7月5日

広島市長 松井一實 様

原水爆禁止広島協議会（広島県原水禁）

代表委員 秋葉 忠利

〃 金子 哲夫

〃 高橋 克浩

平和宣言では、「核抑止論」を明確に否定してください

日頃から、市民生活の向上、平和行政の推進のためご尽力されていますことに敬意を表します。

広島は、まもなく78回目のあの日8月6日を迎えます。貴職におかれましては、現在8月6日の平和記念式典で読み上げられる「平和宣言」の作成を進められていることと拝察いたします。

広島市民は、今年の「平和宣言」がどのような内容になるのか、とりわけ強い関心を持っています。それは、言うまでもないことですが、今年5月にG7広島サミットが開催されて初めての平和宣言となるからです。

G7広島サミットでは、初日の5月19日に「広島ビジョン」が発表されました。私たちは、その内容が広島の期待に応えるものとなるのか強い関心を持って見守ってきました。しかし、残念ながら発表された「広島ビジョン」は、広島の思いに応えるものではありませんでした。

せっかく、原爆資料館を見学し、被爆者との対面が行われたにもかかわらず、「広島ビジョン」には、被爆者の言葉もなければ、核兵器禁止条約に触れることも全くありませんでした。それどころか、「核兵器の保有」を容認し、とりわけ「核兵器は、それが存在する限りにおいて、防衛目的のために役割を果たし、侵略を抑止し、並びに戦争及び威圧を防止すべきとの理解に基づいている。」と、核抑止論を肯定しています。

これは、被爆者や広島市民の「核兵器の非人道性」や「核兵器の廃絶」の訴えと真っ向から対立するものであります。

貴職は、これまで度々「核兵器は『絶対悪』だ」と強調されてきましたが、この考え方も否定するものです。

今年発表される平和宣言においては、このような「広島ビジョン」の考え方を広島は絶対に受け入れないことを表明することが絶対に必要です。もし、このことに触れなければ「広島が核抑止論を認めた」ことになってしまいます。

つきましては、貴職が、今年の平和記念式典で発表される「平和宣言」において、広島は、「広島ビジョン」のいう「核抑止論」を完全に否定すると共に、日本政府に対し「早期に核兵器禁止条約を批准する」ことを強く求めるものとなることを要望します。

以上